



伝統は新たな未来

特定非営利活動法人(NPO) 伝統木構造の会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-36-6、電話 03-3370-8528, Fax 03-3375-8447

E-mail : mail@dentou.org URL http://dentou.org

ちからとかたちを考える〈架構学〉講座——連続48回

講師増田一眞からのお願い

増田一眞：本会会長、昭和9年広島県生れ。東京工業大学工学部建築学科卒業。(株)増田一眞建築構造事務所代表取締役。

架構とは、構(柱)と架(梁)で構成される骨組みのことです。

架構学とは、耐震性などの耐力機能を持つ架構のさまざまな形(組み合わせ)を対象とした学問です。以下の4つの分野を統合したものであり、受講者には、その修得と活用、発展を期待する2年間連続48回の講習会です。

- (1) 素材を知る
- (2) ちからとかちの関係を理解する
- (3) 材の仕口や継手のメカニズムを会得する
- (4) 加工・組立の工法を極める

これらに対する認識は、建築設計の意匠を志す人も、建築構造をめざす人にも共通して必要なだけでなく、ものつくりの世界全般にかかわる要諦のため、一般市民の方にも常識として知っていてほしい内容なのです。それゆえ、時間をかけて、受講者全員が納得できるまで徹底的にかみ砕いて講習を進めていきます。

(1)の素材としては、コンクリートも鋼も、土や石、植物性材料まで含みます。未来の構法としてはPC構法も混用系構法も視野にいれておくべきだからです。(2)のちからとかちは、各材料に共通しており、数字の違いだけです。(3)の仕口・継手についても、PC構法と木構造とは意外な共通性が出てきます。(4)の加工・組立の工法においても、PCと木構造を共通にとらえると、ユニットのとらえ方も、また従来のもとと違ってきます。

よい構法を確立するにはどうすべきかについて、あらゆる可能性を探る企画です。参加者は、従来の固定観念をうち破るつもりでご参加ください。

なお、この講座がほんとうに2年間で終わられるのかも、講師自身わかってはおりません。そこで、別紙案内にありますように、毎月2回、第2、第4土曜日に本講座を開き、講座を進めつつ、今後の方針を決めていくとしか、現在では申せません。ですから、講座を1、2に分類したうち、さらに、第1講から第18講までの、どこまでを向う半年間で進められるかは、断定できません。

長期にわたる講座ですから、受講者各位におかれましても、よくよくご検討いただき、「架構学」を修得するだけでなく、講師の「架構学体系確立をめざす」同志になっていただきたいのです。

そこでまず、オリエンテーションを開催いたします。その上で、受講するかどうかをお決めいただいてもかまいません。ただし、受講の受付は先着順になります。設計者のみならず、大工・職人、山元、市民の参加も歓迎いたします。

また、講座の途中で欠員が生じた場合には、新規受講者に対して別途、補講も準備し、一人でも多くの会員が架構学を修得してもらいたいと切望いたしますが、受講者各位におかれましても、よほどの覚悟をご自覚いただき、受講申込をされるよう期待しております。

オリエンテーションのご案内

日 程：平成19年9月22日(土)午後2:00~3:30(1:30受付開始)

場 所：東京製図専門学校15号館2F(1521教室)新宿区百人町1-16-26

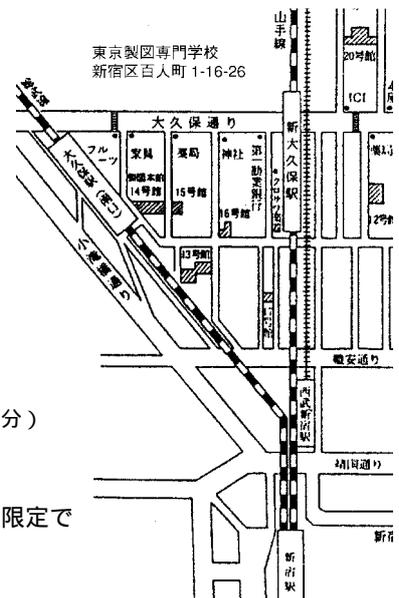
注：駅前にある14号館ではなく、裏の15号館です。総武線大久保駅南口徒歩数分)

参加費：1,000円(会員 非会員 学生共)

参加費は当日受付にてお支払いください。

参加資格：オリエンテーションはどなたでも参加できますが、講座は会員と学生限定です。現在非会員の方は、「本会へ入会」が条件になります。

(注)オリエンテーションと講座の会場は違いますのでご注意ください。



〈架構学〉講座 オリエンテーション申込書 〈FAX 03-3375-8447〉

郵送ないしファックスするか必要事項をメールされても構いません

平成19年9月22日(土)

氏名： _____ ・会員 非会員 学生 ・過去に本会講習会への参加： 有 無

住所：〒 _____

電話： _____ FAX： _____

Email： _____